

# 平成21年 入学試験を施行

## 日本歯科大学新聞

東京千代田区富士見  
日本歯科大学新聞会  
発行兼 中原 泉  
編集人  
発行日 偶数月末日  
定価 1部1.0円  
編集室 (〒951-8580)  
新潟市中央区浜浦町1-8  
☎025(267)1500



本学のシンボルマーク

### 両学部部の合格者発表

#### 東京短大、新潟短大の入学試験も

平成二十一年度の日本歯科大学入学試験は、一月中旬のセンター試験と二月初旬の本学試験をもって施行し、両学部部の合格者を発表した。あわせて東京短期大学、新潟短期大学の入学試験が行われた。

平成二十一年度の入学試験は例年どおり、大学入試センター利用入学試験(センター入試)と、本学で実施する一般選抜入学試験(本学試験)の二本立てで行われた。



試験問題に取り組む受験生たち(2月1日・生命歯学部)

### 中原リザ子教授(矯正)逝去

#### 東京芸大出の歯科矯正学教授

本学生命歯学部歯科矯正学講座の中原リザ子教授は、平成二十年十月十一日、悪性腫瘍のため東京武蔵野市の武蔵野赤十字病院で逝去された。享年六十五歳。故中原教授は昭和四十三年本学卒業(第五十七回卒)、平成十三年四月から歯学部歯科矯正学講座の主任教授を務めた。十月十四日には、密葬が東京府中市の多磨葬祭場において執り行われた。



【学歴】  
・一九六八年三月 東京芸術大学美術学部油絵科卒業  
・一九八二年三月 日本歯科大学大学院歯学専攻(歯科矯正学)研究科修了(歯科矯正学専攻)

【職歴】  
・一九八二年四月 日本歯科大学歯学部歯科矯正学教室助手  
・一九八六年十月 日本歯科大学歯学部講師  
・一九九九年四月 日本歯科大学歯学部助教  
・二〇〇一年十月 日本歯科大学歯学部歯科矯正学講座教授

【資格】  
・一九六八年六月 第四十三回歯科医師国家試験合格・歯科医師免許取得(第五六一五九号)  
・一九八二年三月 日本顎変形症学会  
・日本歯科色彩学会理事  
・顎顔面バイオメカニクス学会  
・日本歯学会  
・日本矯正歯科学会認定医  
取得(第一四四号)  
・一九九〇年八月 日本矯正歯科学会指導医

【所属学会】  
東京矯正歯科学会理事  
日本矯正歯科学会(評議員)  
日本顎変形症学会  
日本歯科色彩学会理事  
顎顔面バイオメカニクス学会  
日本歯学会  
日本矯正歯科学会認定医  
取得(第四十号)

#### 辞令

准教授 小松崎 明  
新潟短期大学歯科衛生学  
科講師併任を命ずる(新  
潟生命歯学部衛生学講座  
平成二十年十月一日)

歯学博士 中原リザ子  
名誉教授の称号を授与する  
平成二十年十月十一日

歯学博士 小口 春久  
客員教授

東京短期大学学長に任命  
する(再任)(生命歯学  
部小児歯科学講座)  
平成二十年十二月一日

理学博士 青木 茂治  
名誉教授の称号を授与する  
平成二十一年一月一日

#### 佐藤前学長、横塚元歯学部長、秋の叙勲

本学名誉教授の佐藤亨  
先生(解剖学)と横塚繁  
先生(歯科補綴学)は、  
平成二十年秋の叙勲で瑞  
宝中綬章を受章した。

横塚名誉教授は昭和二十  
七年本学卒業(第四十  
一回卒)、本学歯学部長、  
附属病院院長等を歴任。

客員教員  
医学博士 佐藤 喜宣  
客員教授を委嘱する(生  
命歯学部歯科法医学セン  
ター)



試験開始直後、緊張のひとつき

歯学部への試験は二月五日に実施し、八日に合格者を発表した。

センター入試利用試験も、生命歯学部志望者へは二月六日、新潟生命歯学部志望者へは二月九日に面接試験を生命歯学部(東京)において実施。それぞれ二月八日と十日に合格者を発表した。

追って一般選抜の後期試験を生命歯学部では二月二十八日に実施し、新潟生命歯学部では三月六日に実施する。

一方、東京短期大学では、歯科技工学科と歯科衛生学科の一般選抜A入学試験を一月二十五日に実施し、新潟短期大学のB入学試験は、三月十四日に行う。



# エジプトで再生歯科医療を討議

## 第16回アレキサンドリア国際歯科会議シンポジウム

昨年十月、筆者はエジプト・アレキサンドリア大学歯学部でティッシュエンジニアリング研究所のモナ・マレー教授から、京都大学再生医学研究所・田畑泰彦教授とともに、第十六回アレキサンドリア国際歯科会議ティッシュエンジニアリングのシンポジウム、および共同研究打ち合わせに招待された。同学会は毎年、欧米あるいは日本などから著名な研究者が招聘されるシンポジウム中心の学会である。アフリカで最大の歯科学会は、エジプトはじめ地中海の近隣諸国などからの参加者も多く、大規模なデモンストラショも併催された。

昨年はエジプトと日本のサイエンス・テクノロジー・ブレイク・アウトでもあり、多分野で両国間の国際交流が行われていた。

『Tissue Engineering: Next generation』をタイトルにしたシンポジウムでは、立ち見が出るほど



エジプトの若手研究者とディスカッション



左より田畑教授、マレー教授とともに、右・筆者

### 青木教授(新潟)最終記念講義

本学新潟生命歯学部先端研究センターの青木茂治教授は、平成二十年十二月末に定年退職を迎えることから、十二月十日



最終記念講義を行う青木教授

午後六時からアイヴィホールにおいて最終記念講義が開催された。演題は「病原性真菌研究をふりかえる」で、記念講義に

は多くの教職員と大学院生、学生が聴講した。青木教授は昭和四十一年三月、新潟大学理学部生物学科を卒業し、東京大学大学院、農林省植物ウイルス研究所を経て、四十九年に本学口腔細菌学教室講師に就任し、平成九年に総合研究センター(現先端研究センター)教授に就任した。青木教授は、病原性真菌や口腔カンジダを主な研究テーマとした。

ど盛況で、さらにそのほとんどが女性であることにも驚かされた。現在、エジプトでは同研究所が中心となり再生医学に関する研究活動が急速に拡がっており、再生医療への関心度が高いことが伝わった。

そこで、これまでのバイオマテリアル研究のなかで開発してきたいくつかの骨再生材料の紹介と東京の附属病院で行っている歯槽骨再生の臨床研究について四十五分間の講演を行った。その後、マレー・田畑両教授とともに総合討論に参加して、たくさんの質疑を受け三十分間があつたという間に過ぎた。

翌日は、午前中に動物実験や研究所内の見学と共同研究打ち合わせを行った。研究設備はとも充実にあり、若手の研

Odontology 年2回発行の

本学歯学会の欧文学術誌「Odontology」(土持眞編集長)は、本年より年二回発行されること

近年、新型インフルエンザの発生が伝えられ、世界的な規模の大流行が危惧されている。

そこで本学では、平成二十年十一月に「新型インフルエンザ危機対策本部」を設置し、対策を講ずることとした。昨年暮れから一月中旬にかけて、両学部において教職員や学生に対し、対策説明会を開催するとともに

「Odontology」(土持眞編集長)は、本年より年二回発行されること

研究者たちが誇らしげに施設を説明してくれた。共同研究打ち合わせは、田畑教授を中心に骨再生研究に関する材料開発や実験計画などが二時間近く討議された。その後、地中海に面したレストランで昼食会が催され、お互いに親交を深めることが

された。同誌は創刊以来の巻号を継承し、本年一月発行は、通巻九七巻一号となる。歯科医学分野では国際的な学術雑誌として高く評価されている。

今回の学会参加は、本学百周年記念グラントの国際交流委員会の活動の一環でもあり、このような交流を通して同研究所との連携を築くことができた。

(生命歯学部口腔外科学講座 松野智宣)

東理十三雄名誉教授 歯科医学会会長賞

本学の東理十三雄名誉教授は、一月二十三日に開催された日本歯科医学会評議員会において、平成二十年日本歯科医学会会長賞を受賞した。

東理名誉教授は昭和三十三年三月卒業(第五十二回卒)。五十六年四月から新潟歯学部口腔麻酔学教室を主宰し、附属病院院長、新潟歯学部長等を歴任した。現在は、日本歯科医学教育学会理事長を務める。

まず十二月中旬に学部学生に対し、学年ごとに説明会を実施した。十二月二十四・二十五日には教職員を対象とした説明会がアイヴィホールにおいて開催され、山口

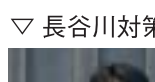
また、生命歯学部では、本年一月十九・二十・二十一日に富士見ホールにおいて、学生や教職員に対して新型インフルエンザ対策説明会を実施した。説明会では、学生部長の沼部幸博教授(歯周病学)と、院内感染予防対策委員会委員長の長谷川功講師(附属病院口腔外科)が、ガイドラインの冊子をもとに講演を行った。

に、「新型インフルエンザガイドライン」の冊子を作成して配付した。

新潟生命歯学部では、院内感染予防対策委員会委員長の山口晃教授(新潟病院口腔外科)により、



△ 沼部学生部長



▽ 長谷川対策委員長



満席となった富士見ホール(生命歯学部)

### 新型インフルエンザ対策両学部 ガイドラインと説明会開く



新型インフルエンザへの対策説明会 (新潟生命歯学部アイヴィホール)

目で見る 日本と西洋の歯に関する歴史

一江戸と明治期、16~20世紀の資料を中心に一

大野蘭英・羽坂勇司 著

A4判 カラー380頁 定価14,700円(本体14,000円+税) わかば出版

著者が述べているように、歳月を経るにしたがって歴史的資料や歯科医療器具は散逸してしまいがちです。著者の手持ちの資料・蒐集品に加え、神奈川県歯科医師会「歯の博物館」所蔵のものも収録し、歯科医学の変遷や軌跡を知る上で、貴重な一冊となっています。歯科医学史研究者はもちろん、すべての歯科医学関係者にとって、どのページを見ても興味深い、貴重な絵画や写真が満載されており、これから歯科医師を目指す学生の方、開業される歯科医師の先生方への贈り物としても最適です。

デンタルブックセンター 〒112-0004 東京都文京区後楽1-1-10 日本生命ビル1F  
株式会社 シエン社 Tel. 03-3816-7818 Fax. 03-3816-0837 http://www.shien.co.jp